

男性機能で注目の新素材

「百歳山参」本格提案へ

使った試験により精子生成として開発したもの。稀成に対する効果(図1)少ない天然山参を食品素材が示されているほか、メスなどの市場に流通させる目的で開発された培では、排卵回数が増加したとの韓国バイオ企業が共同で製品化した。天然に100年以上自生しているものと認定された山参を組織分離し無菌培養した培養根を原材料としている。

一方、山参とは、一般的に市場流通している栽培品の高麗人参とは異なり、天然に自生した高麗人参を指す。長いものだと100年以上も生きる

稀伝わる山参をめぐる情緒力が一層高まる。このた豊かなストーリーに加え、同社では、従来の滋養強壮素材とは一線を画した素材として市場普及を

希少性と効果の高さから「百歳の王」などと称して珍重されてきた天然高麗人参「山参(さんさむ)」。その天然山参と同質であることを鑑定書が発行された山参培養根を原材料にする機能性

食品素材「百歳山参(ひゃくさいさんさむ)」の本格的な市場提案を、オムニクスがこのほど開始した。強壯作用を中心に、豊富な有効性アータを紹介している。

昨秋から提案を始めて、効果測定に用いたこの試験では、勃起不全、射精能、性欲などの男性機能に有意な改善がみられたとのデータがでている。

また、オスのマウスを

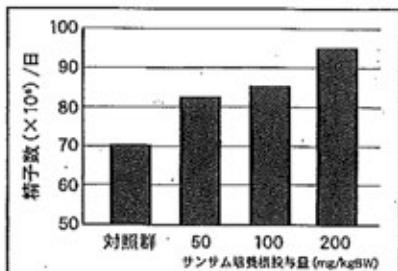


図1: 精子生成に対する効果

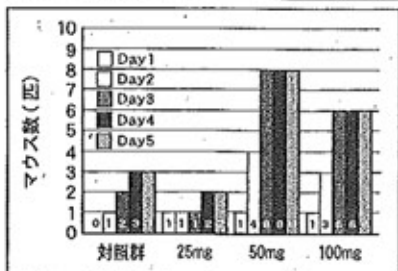


図2: 排卵したマウスの数 (各群9匹)

(国際勃起能スコア)を用いられるIIEFの強さを示す知見として、活性化除去の役割を果たすグルタチオンペルオキシターゼの活性化作用が通常の高麗人参に比べて約150倍高いとされるデータもでており、同社では、強壯作用に限らない幅広い機能性用途での利用提案を進めていく方針。

同素材は、天然山参の培養根を機能性食品素材として、このように韓国国内で